

新型コロナウイルス（COVID-19）の対応に関する重要なお知らせ

- 息苦しさ、強いだるさ、高熱等の強い症状がある場合
- 重篤化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
※高齢者、基礎疾患がある方、透析をしている方、免疫抑制剤を用いている方など
- 上記以外で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合



すぐに

帰国者・接触者相談センターへ



感染防護の整った帰国者・接触者外来
全国約860の医療機関などを受診



保健所を通さずに医師の判断で検査実施
民間の検査会社などが検体を調べる

新型コロナ相談窓口

▶厚生労働省電話相談窓口

フリーダイヤル (0120)565653

受付時間：午前9時～午後9時（土日・祝日も実施）

▶瀬戸保健所電話相談窓口

電話番号 0562-21-1699

受付時間：午前9時～午後5時15分（土日・祝日はお休み）

新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大に伴うお願いとお知らせ

- ・上記に該当し帰国者・接触者相談センターに相談の結果、かかりつけ医受診を勧められた場合は直接来院されず事前に電話連絡をお願いいたします。医師の判断で来院時間の指示をさせていただきます。当院入口横のテラス席あるいは区画された待合席で診察をさせていただきますので、来院されましたら入口に設置されたインターホンにてご連絡していただきテラス席でお待ちください。まもなくスタッフが直接お話を伺いに参ります。
- ・上記に該当しない発熱・風邪症状のある方は、二次感染を防ぐため直接来院される前に必ず事前に電話連絡していただきスタッフより指示を仰いでください。来院されましたら入口に設置されたインターホンにてご連絡していただき区画された待合席でお待ちください。まもなくスタッフが直接お話を伺いに参ります。
- ・新型コロナウイルス感染のPCR検査は、当クリニックでは実施できません。
肺炎の有無を確認するためのレントゲン検査などを行います。時間的・空間的に他の患者様と直接接触しないようにさせていただきます。
- ・風邪/発熱症状のある方は、院内でのマスク装着をお願いします。

当クリニックの感染対策

- 来院された患者様は入口にて全員体温測定を実施します。

(スタッフが非接触型体温計で測定→37.5℃以上の場合、接触型体温計で再検します。)

- 空間的に他の患者さまと接触しないように配慮させていただきます。

来院状況により待合席を3区画に分離しています。

① 定期受診等で風邪症状・発熱のない患者様 → 院内待合室 (一般エリア)

② 風邪症状がある患者様、微熱のある患者様 → 院内待合室 (隔離エリア)

37.5℃以上の発熱が2日以上ある患者様

③ 来院時に高熱がある患者様 → ③入口横テラス席

咳などの風邪症状等がひどい患者様

(テラス席は開放されているため外気温に合わせた服装でご来院ください。)

- 肺炎が疑われる場合や医師の判断で新型コロナウイルスの可能性が否定できないと考えられる場合は検査・処置等のために院内奥まで入る必要があるため健常者と空間的だけでなく時間的な接触も避けるため通常診察時間ではない時間帯に再度来院して頂く場合がありますのでよろしくお願いします。

- 混雑時は患者様の入口と出口を変えることにより導線を分離します。
入口は通常どおりですが出口は受付横奥のスタッフ通用口となります。
(車椅子は通れないためその場合はスタッフが誘導致します)

- 診察室、受付、処置室等院内各所にビニールカーテンを設置いたします。
ご不便、ご迷惑をおかけいたしますがご理解・ご協力をお願いいたします。

- 院内各所に空気清浄器を設置いたしております。

- 滞在時間の短縮化のため院内業務をふだん以上に効率化いたします。

- 院内スタッフは必要に応じマスク、ガウン、シールド等の感染防護具を装着します。

- 診察後は診察室・処置室・検査室および機材等の消毒をいたします。

- 現在不顕性感染者存在の可能性もあり、院内の換気実施のため入口や窓の適宜開放を実施するため通常の快適な院内の温度が維持できません。寒い場合もありますのでお手数ですが外気温に合わせた着衣で来院いただくようお願いいたします。

皆様が安心して受診していただけるように努力させていただいておりますので、患者様におかれましてもご協力の程重ねてお願い申し上げます。



わごうヶ丘クリニック

院長 三木健司